

学校だより

2月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和三年一月二十九日



新しい生活様式の中で、工夫し、柔軟に考えること

校長 吉野 達雄

先日、新型コロナウイルス感染症に罹患した人が、全世界で1億人を超えたという報道がありました。全人口の約1.3%になるようです。この未曾有の事態は、マスクや手洗いの徹底、三密にならないようにするなど、私たちの生活様式を大きく変えています。もちろん学校もそうです。様々な教育活動を見直し、新しい生活様式に対応するものを常に模索しています。動画を作成して教育活動を行うことはこれまでありませんでしたが、今年度は頻繁に行っています。行事や避難訓練、児童集会、毎日の授業においても、事前に動画を作成しています。また始業式や全校朝会はオンラインで行いました。一人一台のタブレットが配置されてからはこれまで以上に多様な学習活動が展開できています。考への共有や発表資料の作成など、これまで紙や黒板を使っていたことがデジタルで行うことができるようになったのです。新しい生活様式への対応に苦労することも多いのですが、一方で、効率的、効果的になっていることがあるのかもしれない。

【Twitterを始めました】

本校では昨年の十二月よりTwitterを始めました。子供たちの活動や学校の様子を毎日、写真付きで配信しています。毎日の学習の様子だけではなく、医療従事者の皆さんへ感謝のメッセージを送ったこと、感染症予防で校内の水道が自動水栓になったこと、主事室や事務室、給食室の職員が働いている姿など、普段なかなかお伝えできないことも発信できているのもTwitterの良さではないでしょうか。今後も積極的に更新していきますので、ぜひご覧ください。

一方、顔を合わせて会話する方が気持ちをしつかり伝えられることもあります。心配なこと、困ったことがあるときには、ぜひ学校へご相談ください。

【予定変更のお知らせ】

緊急事態宣言により教育活動がこれまで以上に制限されています。直接学校に来ていただけないのは心苦しいのですが、二月の道徳授業地区公開講座、三学期の保護者会などは、ホームページで工夫しながら公開しますのでご了承ください。

白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。

体力向上の取組について

体育主任 小野澤 翔太

新型コロナウイルス感染症のため学校は長期の臨時休校となり、子供たちは自宅での自粛生活を余儀なくされました。そこで懸念されたのが、子供の運動機会の減少と体力の低下です。インターネット上にたくさん投稿されているトップアスリートの動画は、誰でも無料で見ることができ、自宅でも簡単に運動をすることができます。その動画を参考にし、私たち教員も自宅で手軽にできる運動の動画を作成することにしました。学校の先生が運動の動画を紹介することで子供たちも楽しく安心して運動ができる考えたからです。

また、本校は校庭の面積が区内小学校の中で一番狭く、全校児童が一度に校庭で遊ぶことができません。そのため校庭、体育館、屋上、中屋上を遊び場として使用していますが、遊び場が屋上や中屋上の日は、ボール遊びをすることができず、教室で読書をしたり友達と話したりして過ごす子供もいます。そこで遊び場を工夫し、屋上と中屋上で反復横跳びと立ち幅跳びを練習できるようにしました。狭い遊び場でもいろいろな運動ができると好評です。また、日ごろから体力を確認できる環境づくりも行いました。本校の課題である握力を向上させるために「握力アップカード」を全校に配布し、三年生以上の教室には握力計を置きました。課題を意識することで行動が変わります。握力を向上させるには、まずは自分の力を把握することが大事だと思っています。

三月には、ヒロティーにボルダリングのボードが設置される予定です。これからも子供たちの安全を第一に、楽しみながら体力を向上できる学校を目指していきます。